

かけはし

第61号 平成15年9月25日発行
千代田区教育委員会



保田臨海学園 九段中学校

主な記事

- ☆ 中等教育学校開設に向けて
- ☆ 学校はどう変わったか(第2回)
—2年目を迎えた新学習指導要領—
- ☆ 千代田と岡山がともに創る
ブロードバンド・スクール
- ☆ 夏休みの思い出

長い梅雨が明け、久しぶりの快晴で
穏やかな保田の海を思う存分泳ぎま
した。

参加した1年生96名中21名が、約2km
の遠泳を達成しました。

ISO14001認証取得



千代田区役所

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成18年度開設！ そこが知りたい中等教育学校

Q 授業時間数やカリキュラムはどのようになりますか？

A 中学校部分にあたる前期課程では、基礎・基本の確実な定着のため、5教科に重点を置いたカリキュラムを編成する予定です。
高校部分にあたる後期課程では、単位制を採用し、生徒が自分の希望や目的に応じて、自分にあった時間割を組みます。また、大学や企業等との連携など千代田区の地域特性をカリキュラム編成に生かしていきます。

Q 学習の進め方はどうなるのでしょうか？

A 正規の授業の他に、放課後や土曜日などに補習・補講などを行い、きめ細かい指導を行います。
また、到達度テストも行い、生徒一人ひとりの学力について把握し、目標に達するまで何度も学習指導します。

Q 入学者の選考時期とその方法は？

A 現段階では決定しておりませんが、平成17年春ごろに募集要項を発表します。
選考時期は平成18年2月初旬を考えています。
選考の方法は、作文・適性検査・面接等を考えています。

Q 私立中学校や都立の中高一貫教育校との併願はできるのでしょうか？

A 選考の具体的な日時は検討中ですが、重複しなければ併願は可能です。

Q 現在の小学校5・6年生は、どういう選択ができるのでしょうか？

A 現在の小学校5・6年生で、平成18年4月の開校時点において中等教育学校への編入を希望する場合は、九段中学校を選択し入学する必要があります。
なお、中等教育学校では、高校受験を目的とした指導は行いませんから、高校受験を希望する場合は、学校選択の際に十分留意して下さい。

Q 16年度の九段中の希望者が、多くなった場合はどうなるのでしょうか？

A 施設面での収容限度があるため、入学は区民優先とし、必要に応じて公開抽選を行います。

Q 区立中等教育学校が特色としてあげているキャリア教育とは、どういうものですか？

A キャリア教育とは「進路学習」のことです。子どもたちが、働く意義や目的を探求することを通じて、自分の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する力を育てていく教育です。
また、今、自分はなぜ勉強するのかという、「学び」の意義をしっかりと自覚してもらいます。そのために、保護者や地域、企業と連携しながら体験的な学習を積極的に行っていきます。

中等教育学校の開設に向け実践校に学ぶ 中高一貫教育についての説明会を開催しました

7月9日、千代田区公会堂で中高一貫教育についての説明会を開催いたしました。当日は、中高一貫教育を実践している学校の関係者を講師に招き、中高一貫ならではのカリキュラムの特色や、各校の様々な取り組みについてお話をいただきました。



東京大学教育学部附属中等教育学校 副校長 草川 剛人

本校の教育目標は「未来にひらく自己の確立」です。
生徒が6年間の一貫教育の中で、「多くの友達、先生との交流を通して成長し、自分のやりたいことを見つけ、自らの進路を決めることができる」よう、カリキュラムを組んでいます。そのために、例えば総合学習の中で「大地震の中でも生き抜いていける力」を身につけられるような学習も行っています。
一貫校の良さは中学生と高校生が交流を通し、お互

い成長できること、一緒に授業をする中で上級生が責任感を持つようになり、自信をつけたことです。
東大附属では自分でテーマを決め、調べ、1年半かけて論文や作品を完成できるように教育をしています。また、生徒が部活動で学ぶことも大切なこととして力を入れています。卒業生たちは、6年間の「学び」を生かして、大学さらに社会で、目標を持って活動しています。
中学時代と高校時代は川に例えれば激流の時期、この時期をゆったり過ごせ、いろいろなことができるのは一貫校の強みです。

大妻中学・高等学校 校長 岡谷 恭子

創立者の理念である、生徒が自分達の将来について色々な夢を持たせて実現させるという教育を行っています。
そのための勉強に興味や関心を持ち、かつ趣味やスポーツも楽しみます。また、事柄の善し悪しもきちんと判断できる、「自主自律の精神」を持った生徒を育成する教育を実践してきました。
このため、6年一貫を生かし、各教科では興味・関

心が持てるような様々な工夫をしています。
授業についていけない生徒のためには補習授業を行い、確かな学力を養成しています。
スポーツで気持ちをリフレッシュし体力も養います。美術で情操教育、道徳教育での茶道やボランティア活動等により人間教育にも力を入れています。大学への進学実績でも大きな成果が上がっています。
こうした6年間の学校生活の中で生徒は生き生きと楽しい学校生活を送りながら自分の夢を実現するために頑張っています。

公文国際学園（中等部・高等部） 日本公文教育研究会 伊藤 博行

本校は6年制の一貫校であり、校風は「自主自律」、校則も制服もありません。
全て生徒に任せるというのがモットーです。中学生世代と高校生世代が自由に交流し、自然に社会性を身につけていきます。公文式の学習では放課後、中学生と高校生が机を並べ、切磋琢磨しながら学習しています。勉強でも6年間の連続した計画に基づいてできるのが一貫校の良さです。
多くの親の願いは、子どもを立派な人間として育て

ることです。それは「少しでも高い教養や高い学力をつけてほしい、無理なく、楽しく、部活もし、友達もたくさんつくって、色々な本を読み、コンピューターもする」ということだと思います。
私は、我が子を2人、この一貫校に入れましたが、何倍も人間が大きくなり、幅広く成長しました。
本校では自主自律の「生きる力」を支えるために自学自習による「高い基礎学力（読解力・数学的分析力・論理的思考力の三つの力を総合したもの）」を身につけられる教育を行なっています。このため卒業生は、大学に行っても目標を持って、しっかり勉強をしています。

学校はどんどん変わったか(第二回) 2年目を迎えた 新学習指導要領

前号の「かけはし」で学校完全週5日制がスタートして2年目を迎え、区内の各学校で、ゆとりある生活の中で、子どもたちの「生きる力」を育てようという様々な試みを紹介しました。
 昨年からは、中学校の学校選択制が始まっています。前号に続き中学校の取り組みを紹介します。

一橋中学校

一橋中学校では、夢育・知育・徳育・体育を柱とし特色ある教育を、人とのかわりを大切にしながら推進しています。

夢育

◇感動体験学習
 各分野で活躍している人を講師に招き、ふれあい体験学習を実施しています。講師の夢あふれる体験や生き方に感動し、夢をはぐくむ機会となるよう願っています。



◇国際交流
 インドのスリラムスクール(中学校)と交流を始めました。神保町にあるインドセンターの支援もあり楽しい交流を進めています。

知育

◇授業時数の確保
 一コマ四十五分授業で週三十二時間(火・木は7時間授業)実施しています。全学級がチャイムと同時に授業を始め、時間を大切に学習しています。

◇大学生が先生

放課後や土曜日に大学生を指導者として基礎学力の定着・発展学習(数学・英語)を行っています。



◇情報教育の推進
 コンピュータを活用した授業の推進とともに、情報教育部を中心として、生徒と教師の共同作業で学校生活のビデオ制作に取り組んでいます。

徳育

◇感動あふれる学校行事

宿泊行事、運動会、合唱コンクール等各種の行事を生徒と教師が一丸とな

って企画・運営します。合い言葉は「行事に燃える一橋中」です。
 ◇積極的な地域交流
 地域の祭や各種行事に吹奏楽部を始め積極的に参加し、地域の方とのふれあい交流を大切にしています。

◇ゆとり談話室

放課後、同窓会の方が手芸・読書・コンピュータ・茶道等ふれあいの場として「ゆとり談話室」を設けています。

自由参加であり、自分の時間として人生の先輩と共に自由に楽しむことができます。

体育

◇活発な運動部活動

水泳・バスケットボール・バレーボール・サッカー・剣道・ソフトテニス・バドミントン等、熱心な指導により楽しく活動し成果を上げています。



練成中学校

自ら学ぶ意欲を持ち主体的に学習する生徒の育成
 楽しく分かる授業

数学は各学年とも二学級を3つのグループに分けて少人数授業を行っています。基礎コースは十名程の少人数で、先生が生徒の学習状態に応じて細やかに指導します。発展・応用コースでは意欲的に学習を進めます。数学を好きになる生徒の育成を目指します。

英語は一学級を

2つのグループに分け、コミュニケーション能力の育成を目指します。1時間の授業で何回も先生や生徒と英語でやりとりします。



英語の授業

土曜学習教室

基礎・応用・補充や実技教科の創作等9つの選択コースを開設。土曜日に自分のやりたい学習を自分のペースで先生に相談しながら学習できます。

自分が好きになれる学校づくり

活気ある生徒活動を通して

よりよい学校生活を創る

生徒が中心になって学校行事が創ら

れていきます。

運動会では三年生が中心となつて組体操や創作ダンスを創ります。練成祭では時間をかけて学年劇を創作します。その活動を通して協力や助け合い、思いやりの心等を学びはぐくみます。やり終えた後には生徒同士や先生との深い信頼感、一体感が築かれ、充実感と満足感を味わいそして次の活動への自信を得ることが出来ます。



運動会

奉仕活動

学校がきれいです。廊下、教室、図書室、掲示物等自分の生活の基盤として学校を大切に思い、教育環境を整えることを目指しています。練成中では以前より積極的に奉仕活動に取り組んできましたが、この二、三年地域清掃や校内清掃に重点を置き多くの生徒が参加しています。

地域とのふれあい

神田祭でたくさんの生徒が町会の人に混ざって神輿を担いだり、神田川のスケッチをしながら地域を調べたりして地域の人たちと接します。この温かいふれあいを通して多くのことを学んでいます。

麴町中学校

伝統と新たな取り組み

創立五十七年目の伝統ある麴町中学校も常に新たなことに取り組んでいます。

国語・数学・英語における

少人数習熟度別授業

全学年で三教科の授業を年間を通じて少人数習熟度別の編成で行っています。コースは基礎・定着・発展の三コースで原則として生徒・保護者の希望選択となっています。

生徒の習熟度に合わ

せて少人数で授業を行うことにより、7割以上の生徒が「以前よりわかるようになった」と回答しており、基礎・基本の定着度が高まっています。

生徒の多様性にに応じた選択教科

選択教科は、各学年とも上限に近い時間数を設定しています。

一週間で、1年生は後期に2時間、2年生は前期2時間、後期3時間、3年生は通年で4時間、九教科から自分で学習したい教科を選択しています。



〈数学科少人数習熟度別授業〉

地域との連携・交流

年間6回の授業参観や運動会などの学校行事、総合的な学習の発表会などの学年行事を広く公開しています。



3年選択理科(電池の実験)
 2年職業体験発表会

伝統ある記念講演会

二十年以上続いている記念講演会では各界の著名人に来ていただいています。近年では三遊亭金馬さんや野村萬作さんのお話を伺いました。

江戸開府四〇〇年記念事業 千代田シティアート二〇三三に区内8小学校の作品を展示

8月21日から25日まで、飯田橋のアイガーデンエアで開催された千代田シティアート二〇三三に区内8小学校8校の児童たちが作成した立体和紙作品「こだま」が展示されました。

風船を型に和紙の原料を貼り付けて作った灯ろうが、「こだまの森」と題して写真のように、きれいに点灯されました。



夏休みの思い出



今年初めての波、気持ちいい!!
保田臨海学園 お茶の水小



「バシャ、バシャ、楽しいね!」
夏季プール教室 番町幼



ビッグバンド部夏季練習 和泉小



みんなで楽しく夏の思い出を!
保田臨海学園 麴町小



鳥帽子岳登山
2年生軽井沢高原学校 今川中



やった!スイカ割り、命中だ!
保田臨海学園 番町小

千代田と岡山がともに創る ブロードバンドスクール

～岡山市の小学生が昌平小学校を訪問し、交流学习を行いました～

8月20日から22日まで、岡山市の小学生の代表が昌平小学校を訪問し、ホームステイをしながら両校児童が共同で現地学習や共同発表会を行い、交流学习を行いました。



開校式にて

千代田区では、本年2月から全小中学校に無線LANと高速大容量の回線を整備したブロードバンドスクール化を行いました。各教室でノートパソコンを使い、児童生徒が必要な情報を収集したり、プレゼンテーション画面を作成したりと、様々な学習に活用しています。

こうした新たな環境のもと、千代田区立昌平小学校では、同じブロードバンドの環境にある岡山市立西小学校、芳明小学校との間で、大容量高速回線を使った交流学习を始めました。

〈この交流の特徴〉

- 教員同士のTV会議システムを活用した事前打ち合わせ**
両校の特徴である大容量回線を生かし、TV会議システムで打ち合わせを行いました。
- 子ども同士の顔が見える交流・共同学習**
データの送り合いだけではなく、TV会議システムを最大限に活用し、データをもとにリアルタイムで説明を行うなど、ブロードバンドの特性を活かした交流学习に取り組んできました。
- 「江戸」をテーマにした共同学習**
今年は江戸開府400年にあたることから、交流のテーマを「江戸」とし、共通のテーマのもと、お互いに調べ学習を展開しています。
- ホームステイ**
交流をさらに発展させていくために、8月20日から2泊3日で、岡山市立西小学校・芳明小学校2校の代表14名が昌平小学校を訪問しました。両校の児童は、千代田区内の「江戸」を一緒に歩き、交流学习の成果をさらに深めました。また、2日目には、岡山の児童が昌平小学校児童の家庭にホームステイしました。
- 交流の成果を千代田アートフェスティバルで発表**
8月21日には、飯田橋で開催された「ちよだシティアート2003」で、3校のこれまでの交流と東京での協同学習の成果をコンピュータを使ったプレゼンテーションで、多くの人々に伝えました。



湯島聖堂での調べ学習



発表会の様子



石川区長に優勝の報告をする遠藤さん

第43回全国中学校
水泳競技大会男子200メートル
平泳ぎで優勝!
一橋中3年遠藤千賀英さん

8月21日、北海道江別市で行われた全国中学校水泳大会200メートル平泳ぎで、一橋中学校3年の遠藤千賀英さんが、見事優勝しました。
タイムは2分23秒01でした。
なお、遠藤さんは予選で決勝よりも1秒近く早い2分22秒04をマークしており、今後の活躍が楽しみです。
また、遠藤さんは、静岡国体に東京都代表選手として選ばれました。

随想

きょういく

このところ、青少年にかかわる事件が相次ぎ、とりわけ事件に関係する子どもたちの低年齢化が際立っており心が痛みます。事件の背景には様々な要因があり、青少年の心身の発達がアンバランスであるとか、社会生活を進めるために必要なマナーが低下しているといった指摘がされ、幼児期からの心の教育が重要であると言われていきます。

幼稚園教育や学校教育においては、様々な直接的・具体的な体験を通して子どもたちに、生活していく上で必要な約束を守ることに気付かせたり、周囲の人々に対して優しい気持ちや思いやる心をはぐくんたりしていくことが求められています。

子どもたちの個性尊重が重要視されている今日、ややもすると自主的、主体的な行動と自己中心的な行動とを同一視する傾向がみられることがあります。子どもたちにそのことをきちんと区別させるのは、私たち大人の役目であり、私たち大人が生活のモデルであると思います。そして、子どもたちが生涯にわたって「よりよく生きる力」を身に付け、心豊かに生活していくためには、常に子ども側の立ち、子どもたちの内面の世界を理解していくことが大切であると考えます。

私は、二十一世紀を担っていく子どもたちに『バリアフリーの心』をもってほしいと願っています。

今日のように国際化が進展してくると、日本人が海外で生活したり、外国人の子どもが日本の学校や幼稚園の教育を受けたり、海外から帰国した子どもたちも多



くなったりしてきました。そのため最近の子どもたちは、髪の毛や肌、目の色の違い、異なった言語や生活様式は容易に受け入れられるようになってきています。

ところが、できる・できない、早い・遅い、大きい・小さい、障害があるといったことに対してはどうでしょうか。

違いは違いとして受け止めながら、違いにとらわれることなく友達として、仲間としてともに育ってほしいと願っています。そのためには、幼稚園教育や学校教育において、友達の個性や違いを受容し認め合うバリアフリーの心を育てていく必要があると思います。

今年私は私と同郷の金子みすゞさんの生誕百年の年になります。「私と小鳥と鈴と」にはいつも心を洗われる思いがします。

私が両手を広げても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を早く走れない。

私が体をゆすっても
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。
(金子みすゞ)

やない としえ
千代田区立幼稚園長会長

きょういく

随想

編集後記

今年の夏休みは、偏西風の蛇行の影響で、日本では記録的な冷夏となりました。

そうした中でも、子どもたちは、ご家族や、友だち同士の交流など、それぞれに有意義な夏休みを送り、またひとまわり大きく成長されたことと思います。

保田で中学校の臨海学園を取材しましたが、約2kmの遠泳を1年生が一生懸命泳いでいる様子を見て、これはこの子たちにとって、きつとすばらしい経験になるだろうなと思っていました。

さて、今号では、前回に引き続き中等教育学校開設に向けた取り組みをお知らせいたしました。対象となるお子さまをお持ちの親には、極めて関心の高い課題だと思えます。「かけはし」では、今後とも、これらの件について、分かりやすい記事の掲載に努めていきたいと思えます。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第八十一号
平成十五年九月二十五日発行

編集発行/千代田区教育委員会

〒102-8688 千代田区九段南1-6-11

☎(ダイヤルイン)03(5211)4273